

5 中学校外国語科(英語)：評価規準に盛り込むべき事項

(1) 評価の観点及びその趣旨

外国語科における評価の観点は、以下の4観点となります。このうちの「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」については、技能のみではなく、思考力・判断力・表現力が含まれます。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

(2) 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項

評価の4観点の中に、それぞれ右図のように2つずつの視点があります。

学習指導要領の内容の言語活動における「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を内容のまとめりとし、それぞれの評価規準に盛り込むべき事項とその例を以下に示しました。

それぞれの評価の観点及び視点の趣旨を正しく理解し、的確に評価をすることが大切です。そのためには、評価の方法についても工夫をしていくことが必要です。

【外国語科4観点と4技能(領域)の評価の視点】

視点 スキル	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語 表現の能力		外国語 理解の能力		言語や文化に ついての知識・理解	
	取組	継続	正確さ	適切さ	正確さ	適切さ	言語	文化
聞く	●	●	---	---	●	●	●	●
話す	●	●	●	●	---	---	●	●
読む	●	●	●	●	●	●	●	●
書く	●	●	●	●	---	---	●	●

ア 「聞くこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>【言語活動への取組】 「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。 聞いたことについて簡単な言葉や動作などに反応している。 <p>【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。 		<p>【正確な聞き取り】 英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。 <p>【適切な聞き取り】 場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話されている内容から話し手の意向を理解することができる。 まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。 	<p>【言語についての知識】 発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 <p>【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

イ 「話すこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>【言語活動への取組】 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 • 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。</p> <p>【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、話し続けようとしている。 (例) • つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 • 身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。</p>	<p>【正確な発話】 自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。</p> <p>【適切な発話】 場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。 (例) • 場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 • 与えられたテーマについて、自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。</p>	/	<p>【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 基本的な強勢の違いを理解している。 • 話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちをうつ表現などを知っている。</p> <p>【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>

ウ 「読むこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>【言語活動への取組】 「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 読んだことについて、メモをとったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 • 辞書を活用して読んでいる。</p> <p>【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、読み続けようとしている。 (例) • 繰り返して読んだり、読み返したりして読み続けている。</p>	<p>【正確な音読】 英語を正しく音読することができる。 (例) • 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。</p> <p>【適切な音読】 英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。 (例) • 意味内容にふさわしく音読することができる。 • 適切な声量や明瞭さで音読することができる。</p>	<p>【正確な読み取り】 英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。</p> <p>【適切な読み取り】 目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。 (例) • あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 • 書かれた内容から書き手の意向を読み取ることができる。 • 伝言や手紙などを読んで、その内容に合わせて適切に応じることができる。</p>	<p>【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 • 語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。</p> <p>【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>

エ 「書くこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>【言語活動への取組】 「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。</p> <p>【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、書き続けようとしている。 (例) • うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</p>	<p>【正確な筆記】 自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</p> <p>【適切な筆記】 目的に応じて英語で適切に書くことができる。 (例) • 場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 • 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。</p>	/	<p>【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 • 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。</p> <p>【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>